

地方公共団体	豊富町
所在地	北海道天塩郡豊富町字豊富大通6丁目
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	ラムサール条約登録湿地であるサロベツ湿原(利尻礼文サロベツ国立公園)を有する本町において、下水汚泥、畜産ふん尿、木材等のバイオマスや町内で温泉と共に産出する天然ガスといった地域独自の資源を活用し、活気に溢れ、環境とも調和した地域内循環システムの構築を目指します。
地域の現状・課題	浄化センターでの下水汚泥の処理に多くのエネルギーと経費が掛かっており、環境・経済の両面から対策が必要です。また、少子高齢化による人口減少が進んでおり、基幹産業である酪農業等の基盤強化や、新規産業の創出による地域の活性化が課題です。
地域が持つ資源	浄化センターでの処理過程で発生する濃縮汚泥をバイオマス資源として活用することが可能です。また、本町では多くの乳牛が飼養されており、豊富な畜産バイオマスが存在します。バイオマス以外では、天然ガスがあり、現在は主に地元の牛乳公社の工場で利用されています。
取組内容	バイオガスプラントを整備し、下水汚泥や畜産ふん尿等を処理します。発生するバイオガスはコジェネ発電等で利用します。地域エネルギー会社を設立してバイオガスや天然ガスから得られるエネルギーを地域内で利用する経済圏を確立します。既存の天然ガス事業と、新規のバイオガス事業が連携し、ガス利用の先進地化に向けた検討を進めます。
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境)バイオガスから得られるエネルギーはカーボンニュートラルであるため、地球温暖化防止に貢献します。また、バイオガスプラント処理は嫌気的に行われるため、悪臭の発生や、汚染物質の流出を防ぎ、サロベツ原野をはじめとする環境保全にも貢献します。</p> <p>(経済)エネルギー地産地消の仕組みを構築することで経済圏が確立され、経済の活性化、雇用の創出が期待されます。酪農業においてはバイオガスプラントの導入によって労働力の軽減等の効果が期待され、基盤強化につながります。</p> <p>(社会)経済の活性化によって人口減少防止効果や酪農家の後継者問題の解消等が期待されます。本町の牛乳は「豊富牛乳」として北海道全土で認知度が高く他地域へ本町を知ってもらう機会を提供しており、共生圏の実現によって牛乳公社の経営安定化や地元とのつながりが強化されることは社会的な効果があると捉えられます。その他、バイオガスプラントは安定的にエネルギーを生産できるため、災害時の防災拠点としての役割も期待されます。</p>



サロベツ湿原



豊富温泉



大規模草地



豊富鉱山施設 (天然ガス)